



学校だより

2月号(第518号)
平成31年1月31日
横浜市立すみれが丘小学校

学校教育目標

〈 みんな友だち すすんで学ぶ元気な子 〉

豊かな人間関係の中で、自分らしさを大切にして主体的に学ぶことができるようにします。

たくさんの皆様に見守られるすみれが丘小

副校長 高畠 智子

昨年の今頃は全国的に大きな寒波に見舞われ、すみれが丘のまちにもたくさんの雪が降りました。子どもたちにとっては、またとない雪遊びのプレゼントでしたが、大人にとってみると、雪かきや交通機関の乱れに苦労した数日間でした。今年かというと、横浜にもささやかな初雪の便りはありましたが、降雨もほとんどなく、乾いた寒い日が続いております。乾燥が続くと気になるのはインフルエンザです。全国的には警報が発令されるほどの猛威を振るっていますが、幸い、本校では罹患による欠席は少なく、日頃のご家庭における健康管理・衛生管理の賜物と感謝しております。今年も、高熱は出なくてもインフルエンザ陽性の診断が出るケースも報告されています。学校でも引き続き健康管理に留意してまいります。ご家庭でも、地域の皆様におかれましても、体調管理に十分なお配慮をお願いいたします。

さて、私は着任して2年目となりますが、すみれが丘小学校は本当にたくさんの皆様に見守られ、支えられている学校だと常々感じております。昨年大雪の際、地域・保護者の皆様のお力を貸していただいた「雪かき」もその一つでしたが、いろいろな場面で、陰に日向に本校を、子どもたちを見守ってくださっています。夏には、1年生が校庭側フェンス沿いに蒔いたあさがおの水やりを、当たり前のように、さりげなく毎日してくださっていた近隣の皆様。台風の後、学校周りに散らかった木切れやごみをそっと片付けてくださった地域の皆様。本当にありがたく思います。また、登下校の安全面の見守りにおいては、すみれサポーター協議会の皆様（すみれ見守り隊）、PTA校外指導委員会、子ども見守り安全サークル、PTAモーニングパパ・ママ、そして教職員が協働して、子どもたちの登下校を見守っていく体制がしっかりと確立されているのも素晴らしいところです。そして、この体制を大きく包み込むようにスクールゾーン・防犯対策協議会があり、各町内会の皆様が支えてくださっています。

この度、長年の活動の中で、特に安全上の課題があると重点的に見守りを続けてきた「パング公園十字路」に、路面標示ステッカーをプリントし注意喚起する旨、都筑警察署交通課の下山様よりお話をいただきました。安全対策の一環として、警察と土木事務所等が連携し、横断歩道前にすみれが丘小児童のデザインした「とまれ」を喚起する標示がされることとなります。現在、子どもたちにデザイン画の募集を行っています。設置されるのは、来年度になりますが、これまで幾度となく危険性を訴え、根気強く関係機関に投げかけ続けてきた結果が、この「交通安全モデル地区推進」の取組として、実を結びました。地域・町内会の皆様にもたいそうご尽力いただいたと伺っております。感謝申し上げます。



すみれが丘小を見守り続けてくださったたくさんの皆様からの大切な贈り物です。これからも、児童の安全教育・安全学習に一層力を入れてまいりたいと思います。

←このようなデザインの路面標示になる予定です。